B6FY-1861-01

取扱説明書

DISPLAY E22T-7 LED（VL-E22T-7）

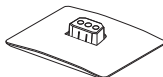
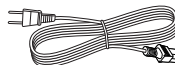
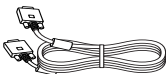
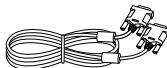
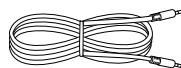
このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。

マニュアルについて

- ディスプレイの設置、接続までは本書をご覧ください。
- 画質の設定などの技術情報は、インターネット上の『補足情報』（http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/display/manual.html）をご覧ください。

製品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一、足りないものがあった場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

□液晶ディスプレイ本体

□ベーススタンド

□電源ケーブル

□アナログ信号ケーブル

□ DVI 信号ケーブル

□オーディオケーブル

□取扱説明書（本書）

□保証書

お問い合わせ先

インターネット上の『補足情報』をご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。
お問い合わせの前に、本製品のラベルまたは保証書に記載されている、型名（MODEL）、製造番号（SERIAL）の確認をお願いします。

■技術的なご質問・ご相談

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口	
通話料無料	0120-950-222
受付時間	9：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く）

■ハードウェアの故障・修理

富士通ハードウェア修理相談センター	
通話料無料	0120-422-297
受付時間	9：00 ～ 17：00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）

受け付け後に、専門技術員からのコールバックとなります。

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.3）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

・ 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
・ 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
・ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。
・ 保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

・ 本製品の LCD パネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・ 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間、1ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・ 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・ 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
・ 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。
・ 1 日約 8 時間以上の連続運転等で早期に部品寿命を迎えた場合、修理に応じられない場合があります。

＜主な有寿命部品一覧＞
LCD パネル、アルミ電解コンデンサ

24 時間以上の連続使用について

・ 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

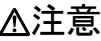
電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/

商標および著作権

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

警告ラベル、注意ラベル

本製品には、警告・注意ラベルが貼ってあります。これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■液晶ディスプレイ本体

⚠警告

本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.1）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.1）、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本製品を落としたり、カバーなどを破損したりしたときは、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.1）、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、雷がやむまで取り付けないでください。
そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.1）、またはご購入元にご連絡ください。

梱包に使用している袋類は、お子様の手が届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かない所に置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。

本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こしたりする場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

添付もしくは指定された以外の電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

⚠ 注意

使用中の本製品を布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際は本製品と壁の間に 10cm 以上のすき間を空け、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 〜 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因となることがあります。

- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- 手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。

ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。
けがの原因となります。

ディスプレイ画面の角度調整の範囲を超えて、無理な力を加えないでください。
故障の原因となります。

本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。
電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となることがあります。また、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所で使用しないでください。
本製品が腐食する可能性があります。

■電源ケーブル

⚠ 警告

電源ケーブル、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）またはコンピューター本体のアウトレットに直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルの芯線が露出したり断線して、感電・火災の原因となることがあります。

添付もしくは指定された以外の電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。1年に一度は点検清掃してください。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一、漏電した場合に、感電の原因となります。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。
電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

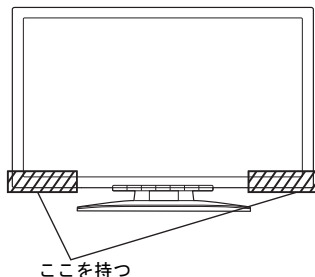
⚠ 注意

電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

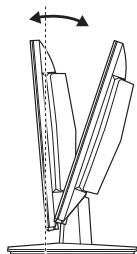
本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
  - ・長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用して画面の表示を中断するか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。省電力機能を利用して、自動的にディスプレイの電源を切る設定や、スクリーンセーバーの設定については、Windowsのヘルプをご覧ください。
  - ・表示する条件によっては、むらおよび微少なはん点が目立つことがあります。
  - ・製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
  - ・液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの、表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
  - ・周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。

  これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 液晶ディスプレイの取り扱いについて
  - ・衝撃を与えたり、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。
  - ・ひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。画面に傷が付く原因になります。
- 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。画面の表面コーティングやカバーが、はげたり変質したりすることがあります。
- スピーカー前面を強い力で押さないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。
- 持ち運ぶときは、画面やスタンド部を持たないで、画面の下の両端を持ってください。また、液晶パネル面に手が触れないようご注意ください。

- 窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光があたらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
- 液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向き角度を調節してください。
- テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- 本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発する機器を使用すると、本製品の画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- 本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しています。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
- 本製品の各ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にコンピューターの電源を切ってください。
- 本製品の各ケーブルが引っ張られた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

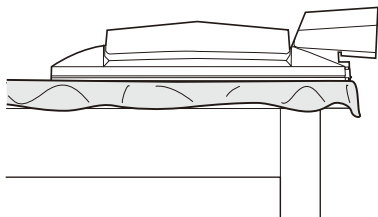
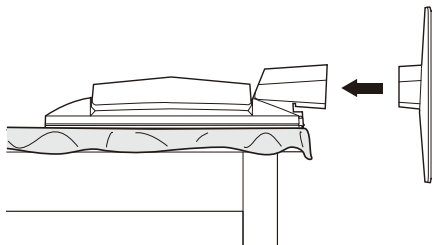
画面の角度調整

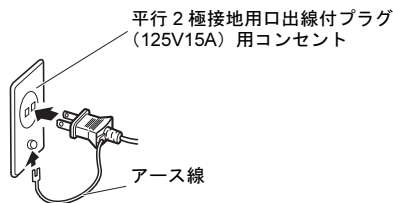
ディスプレイの上下の角度を調節するときは、ディスプレイの両端をつかみ、任意の角度に調節してください。

液晶ディスプレイの接続

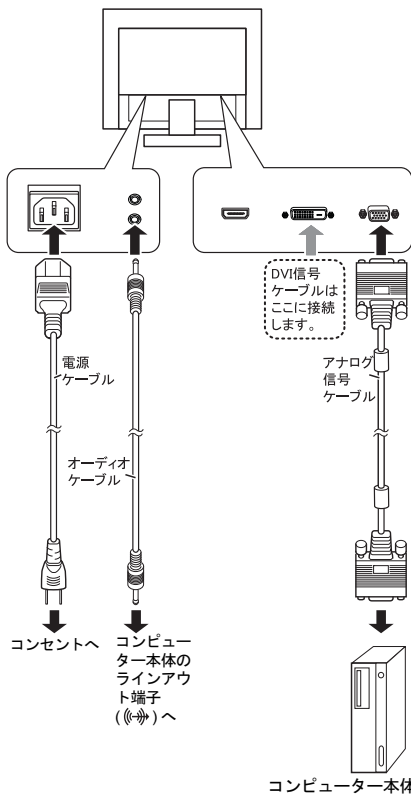
- すべての接続が終了するまで、本製品とコンピューター本体の電源は入れないでください。
- 本製品の電源を入れた後にコンピューター本体の電源を入れてください。
- 本製品の仕様と、コンピューター本体の仕様を確認してから、接続してください。
  詳しくは、『補足情報』－「仕様」をご覧ください。

コンピューター本体への接続については、コンピューター本体のマニュアルもご覧ください。

ベーススタンドを取り付ける

1 カバーや液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

2 ベーススタンドの向きを確認して、カチッと音がするまではめ込みます。

コンピューター本体と接続する

電源ケーブルをコンセントに接続します。
電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続します。

□接続例

1 次のように接続します。

●製品には、同梱されている電源ケーブルを使用してください。また、電源ケーブルは他の製品には使用しないでください。

●接続するコンピューターが 1 台の場合は、DVI 信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルのいずれかひとつのみお使いください。

●他の接続については、『補足情報』をご覧ください。

画面が表示されない

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容または『補足情報』の「トラブルシューティング」でお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。ご覧いただいても問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.1）にご相談ください。

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している。	電源ケーブルが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを正しく、奥まで確実に接続してください。	「コンピューター本体と接続する」（→ P.6） 『補足情報』－「付録」
	電源が入っていない。	コンピューターの電源が入っていることを確認し、電源を入れてください。	『補足情報』－「各部の名称と機能」
「スリープモードに入ります」の表示後、電源ランプがオレンジ色に点灯している。	コンピューターが省電力状態になっている。	キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	『補足情報』－「省電力機能」
	DVI 信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルが、本製品またはコンピューター本体に正しく接続されていない。	本製品およびコンピューター本体に DVI 信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルを正しく接続してください。	「コンピューター本体と接続する」（→ P.6） 『補足情報』－「付録」
「周波数が仕様外です」の表示後、電源ランプがオレンジ色に点灯している。	コンピューター本体の設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の電源を切り、その後電源を入れてください。	『補足情報』－「仕様」－「標準表示仕様」 またはコンピューター本体のマニュアル
電源ランプが緑色または青色に点灯しているが、画面が表示されない。	DVI 信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルが、1 台のコンピューター本体に接続されている。	信号ケーブルのいずれかの1本を 1 台のコンピューター本体に接続してください。	「コンピューター本体と接続する」（→ P.6） 『補足情報』－「付録」

DISPLAY E22T-7 LED（VL-E22T-7）取扱説明書
B6FY-1861-01-01
発 行 日　2013 年 5 月
発行責任　富士通株式会社
〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター